

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表 令和3年2月26日

事業所名 子ども通所サービスあぼろ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動エリアで分けている	
	2 職員の配置数は適切である	○		利用人数に対して適切に配置している	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		お子さんの特性に合わせて構造化をしている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		換気/消毒などこまめに徹底している	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		スタッフ全員で会議の実施	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		事業所の評価を受け止めて改善できることはスタッフと共有して改善していきたい	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		玄関にお知らせを貼って周知するようにした	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	検討していきたい	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		自閉症eサービス、あくしゅの研修には積極的に参加している	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		検査キッドを使用したアセスメントや保護者からの聞き取り、アセスメントシートの記入などを参考に支援計画を立案している	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		強度行動障害の判定表やフェイスシートを利用している	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援ガイドラインを参考にし、個別支援計画を設定している	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に沿って支援内容、視覚的ツールなどの作成を行っている	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動プログラムについては、児童発達支援のリーダーを中心としてチームで行っている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定化しないように内容には配慮している(一人一人に合わせた活動プログラムの組み立て)	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		1人1人の特性を理解して支援計画を作成している	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、朝の引継ぎを実施している 週間予定表をつくり分担を明確にしている	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後には振り返りを実施している	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		課題や活動は写真を撮って評価を実施して記録をしている		

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		年2回のモニタリングを実施している	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援の担当者からの聞き取りや子どもの様子を確認して児童発達支援管理責任者が参加するようにしている	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて支援の連携ができる体制は整えている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	該当なし			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	該当なし			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		個別支援計画、支援内容をまとめて提出したり、先生との引継ぎの時間を設定している	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		個別支援計画、支援内容をまとめて提出したり、先生との引継ぎの時間を設定している	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		山口県発達障がい者支援センターと連携してコンサルテーションを依頼している	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		ひらきの里のコスモス祭りの行事があるときは案内をチラシで渡している	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		子ども部会の役員も引き受け積極的に参加している	今年度はコロナのため子ども部会中止アンケート調査の実施
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		分かりやすいように写真やiPadで伝えている	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者からの相談があったときは必要なツールやスケジュールなどを一緒に作る時間を設定している	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の時に実施している 質問があったときにも対応している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインに基づいて作成した支援計画の内容を時間を設定して説明をして同意を得ている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があったときには適切に応じ助言、支援を実施している	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		茶話会の実施を年1回実施している	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談があったときには体制を整えて対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報は発行していないが日々の記録(写真)で保護者に発信している	

	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○	同意書に基づいて十分注意している 不必要になった情報はシュレッダーにかけている パソコン内の情報についての取り扱いにも十分注意している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	分かる方法(視覚的なツールの使用など)や写真などで伝えるようにしている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	社会福祉法人ひらきの里の行事で合同に実施している	今年度はコロナのため中止
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	マニュアルを玄関に置いている	玄関入り口に貼って報告するようにした
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	年に2回実施している(避難訓練/水害訓練)	訓練が実施されたことを玄関に紙面を貼って報告している
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	フェイスシートで確認している てんかん発作時の対応は保護者からの聞き取りや情報を基にマニュアルを作っすぐに対応できるようにしている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	契約のときにアレルギー調査を実施して保護者から医師の見解を資料や指示に基づいて対応するようにしている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハットの報告書を基にスタッフで共有している	PC内にあるソフト(福祉見聞録)に記録し共有している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	研修会には全員参加している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	身体拘束については、保護者に個別支援計画の説明会のときに了解を得ている	